

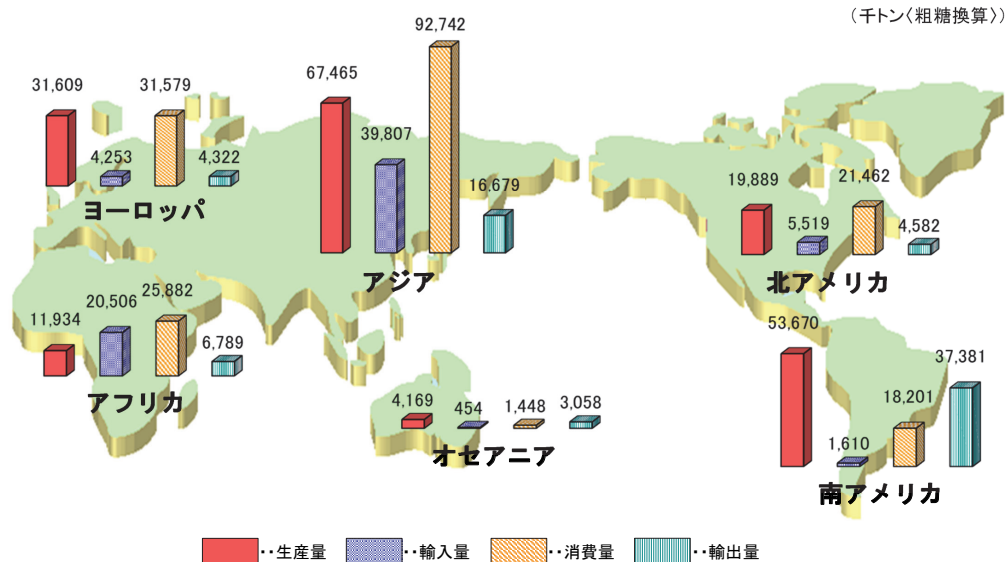


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星

1 世界の砂糖需給（2025年9月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, September 2025」を基に農畜産業振興機構作成
注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

（単位：千トン〈粗糖換算〉、％）

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	48,811	116,772	31,637	112,814	32,460	51,947	46.0
1999/00	68,474	133,241	36,641	127,777	39,769	70,810	55.4
2004/05	71,844	144,278	47,196	146,617	50,926	65,775	44.9
2009/10	65,134	159,905	55,849	164,372	56,130	60,386	36.7
2014/15	77,309	183,662	60,955	177,050	62,308	82,567	46.6
2019/20	91,985	181,845	69,534	182,794	71,597	88,973	48.7
2020/21	88,973	181,966	66,814	185,536	68,005	84,211	45.4
2021/22	84,211	186,377	69,340	188,690	71,058	80,179	42.5
2022/23	80,179	190,628	70,743	190,671	70,948	79,931	41.9
2023/24	79,931	195,726	76,235	191,115	76,722	84,055	44.0
2024/25 (2025年9月予測)	84,055	188,735	72,148	191,314	72,811	80,813	42.2

資料：GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, September 2025」
注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。
注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。
注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。
注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

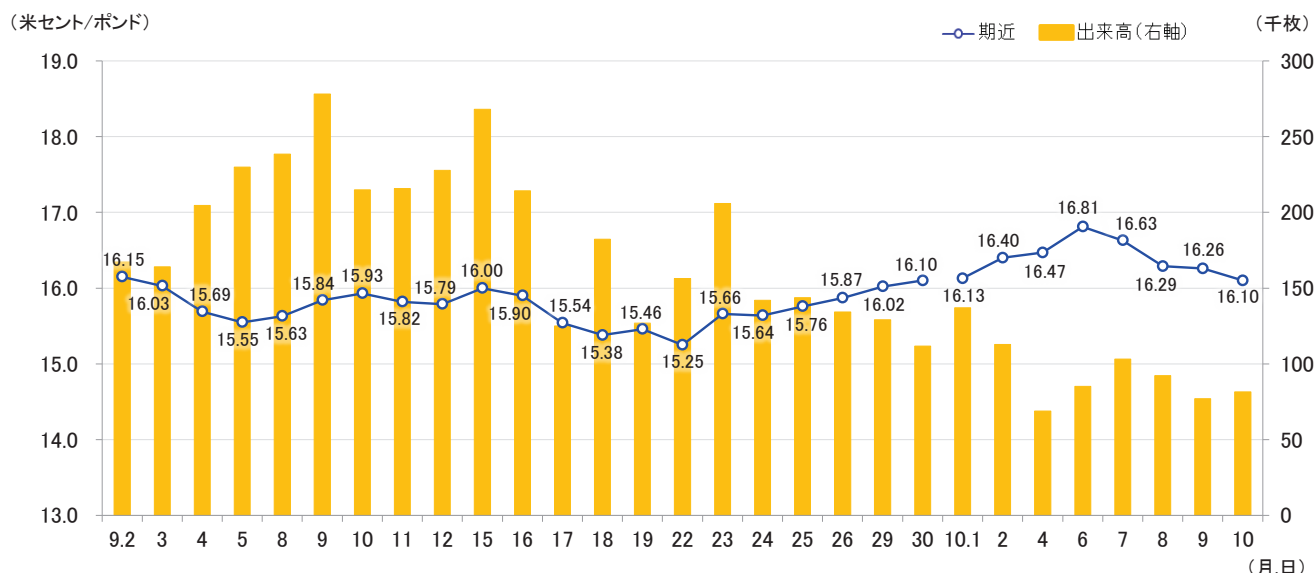
「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2026年1月号の掲載となります。直近の内容は2025年10月号をご参照ください。
「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003411.html
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003412.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（9/2～10/10）

～ブラジルの増産見通しなどから15セント台に下落し、その後はわずかに回復～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所

注：9月は期近10月限の値、10月は期近3月限の値。

2025年9月のニューヨーク粗糖先物相場（10月^{がつ}限）の推移を見ると、2日はブラジルの増産見通しから1ポンド当たり16.15セント（注1）と前取引日から下落した。3日以降もブラジルの増産見通しから下落が続き、4日に7月上旬以来の15セント台となり、5日も続落して同15.55セントをつけた。8日以降は原油高（注2）により上昇傾向に転じ、10日は同15.93セントまで値を上げた。11日以降はインドの砂糖輸出増加見通しから下落したものの、15日はリアル高（注3）により同16.00セントまで値を戻した。16日以降はブラジルの増産による世界的な供給増から下落傾向に転じ、22日は同15.25セントまで下落した。23日以降は原油高とドル安により一転して上昇傾向となり、30日は同16.10セントで納会した。

3月限に切り替わった10月を見ると、2日以降はブラジルのサトウキビ糖度減少に起因する減産懸

念から上昇し、6日は同16.81セントをつけた。7日以降は25/26年度の世界的な砂糖余剰予測により下落し、10日は同16.10セントまで値を下げた。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）一般に、原油価格が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も増加する。バイオエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの度合いが小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

（注3）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

3 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2025年10月時点予測）

ブラジル

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：872万ha（前年度比1.4%減）
生産量：6億4350万トン（同5.2%減）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：4644万トン（同1.6%減）
輸出量：3569万トン（同1.3%減）

2025/26年度のサトウキビ生産量はやや、砂糖生産量はわずかな減少を見込む

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、1～3月の降水量が平均を下回ったことや圃場の更新により、872万ヘクタール（前年度比1.4%減）とわずかな減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、前年度の火災の影響のほか、年初からの干ばつ傾向に加え、6月と7月に中南部で局所的に発生した霜害などにより、単収が前年度を下回るとの見通しから、6億4350万トン（同5.2%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産およびサトウキビの歩留まり指標となるATR^{（注）}の減少が見込まれ

る中、引き続き製糖企業によるサトウキビの砂糖仕向け割合は高い状態にあるものの、4644万トン（同1.6%減）とわずかな減少が見込まれている。世界の砂糖相場が下落傾向にある中、同国では8月1日よりガソリンのエタノール30%混合（E30）が義務付けられており、今後のエタノール生産動向が注目される。砂糖輸出量は、3569万トン（同1.3%減）とわずかな減少が見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。

（注）1トン当たりの平均回収糖分。ポルトガル語でAçúcar Total Recuperável（総回収可能糖量）の略。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (9月予測)	2025/26 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		8,440	8,408	8,844	8,718	8,718	▲ 1.4
サトウキビ生産量		606,676	713,134	678,676	641,500	643,500	▲ 5.2
砂糖	生産量	39,700	49,320	47,190	46,280	46,440	▲ 1.6
	輸入量	2	5	4	5	5	8.3
	消費量	10,924	10,965	10,751	10,800	10,751	0.0
	輸出量	28,888	37,393	36,176	35,479	35,689	▲ 1.3
	期末在庫量	2,233	3,200	3,467	3,576	3,471	0.1
	期末在庫率	5.6	6.6	7.4	7.7	7.5	0.1ポイント増

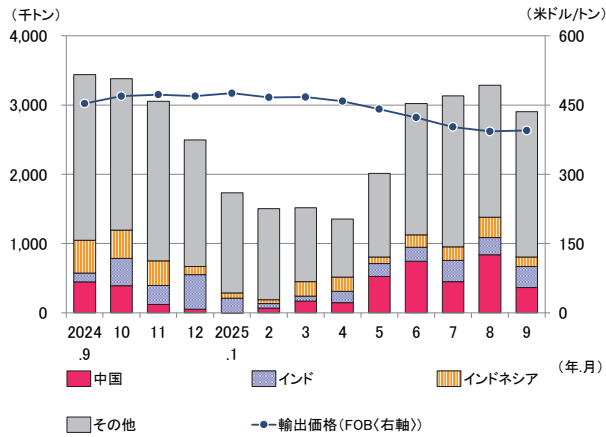
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

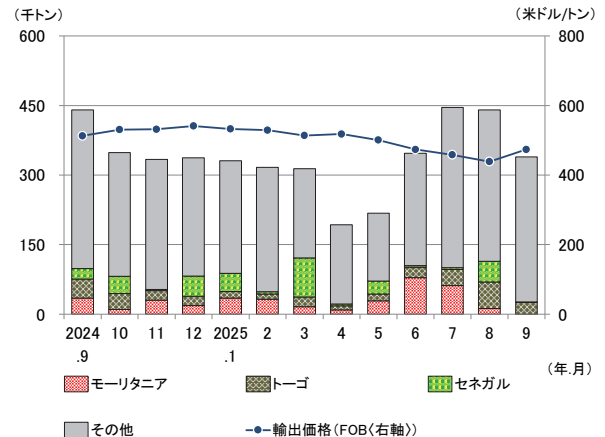
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料: 「Global Trade Atlas」

注1: HSコード1701.14 (粗糖) および1701.99 (精製糖) の数値。

注2: 輸出量は、直近13カ月 (累計) の上位3カ国・地域を表示。

インド

2025/26年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積: 527万ha (前年度比0.5%増)

生産量: 4億3607万トン (同11.9%増)

【砂糖 (甘しや糖)】

生産量: 3341万トン (同18.7%増)

輸出量: 513万トン (同29.7%増)

2025/26年度の砂糖生産量および輸出量は大幅に増加する見込み

2025/26年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、前年のモンスーンによる降雨がサトウキビの作付けに有利に働いたことから、527万ヘクタール (前年度比0.5%増) とわずかに増加が見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、1) 今年のモンスーンが収量向上に寄与したこと、2) マハラシュトラ州など一部地域で発生した洪水の影響が長期的なものではないとの推測から、4億3607万トン (同11.9%増) とかなり大きく増加が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産で3341万トン (同18.7%増) と大幅な増加が見込まれている。25年9月に同国政府は、25/26年度に国内の製糖工場などがサトウキビジュースや糖蜜からエタノールを無制限に生産することを許可する通知を発出しており、今後の動向が注目されている。砂糖輸出量は、砂糖の増産により、513万トン (同29.7%増) と大幅な増加が見込まれている。インド砂糖・バイオエネルギー製造業者協会 (ISMA) は、砂糖の推定在庫を考慮して25/26年度に200万トンの砂糖輸出を許可すべきと同国政府に働きかけている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

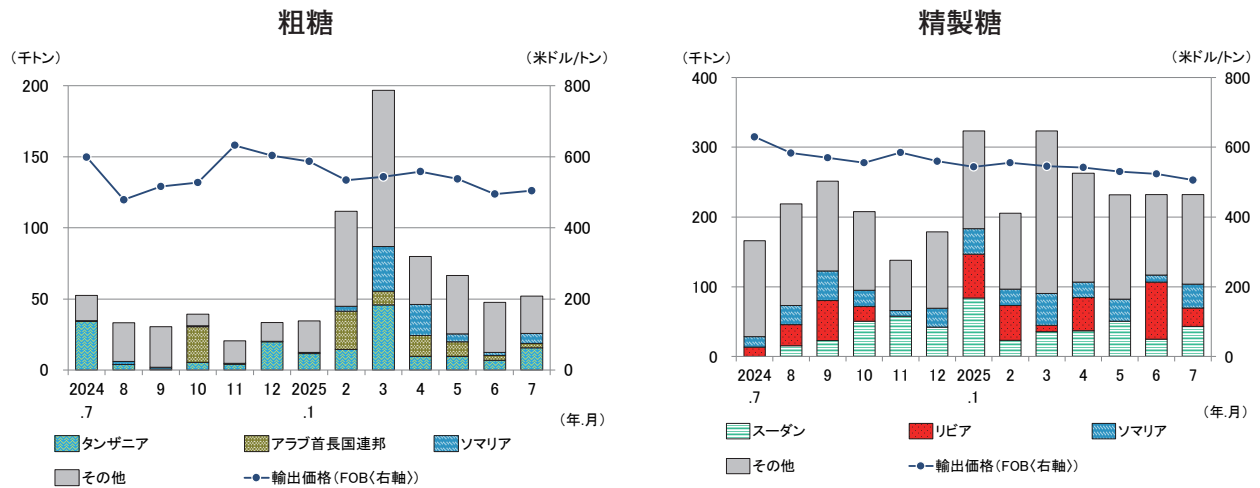
年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,441	5,544	5,243	5,272	0.5
サトウキビ生産量	455,898	443,707	389,847	436,069	11.9
砂糖	生産量	35,389	34,677	33,405	18.7
	輸入量	1,687	3,130	2,988	0.0
	消費量	30,078	31,093	30,695	2.4
	輸出量	8,646	4,384	5,129	29.7
	期末在庫量	6,285	8,616	5,810	9.8
	期末在庫率	16.2	24.3	17.1	0.7ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

中国

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：123万ha（前年度比4.2%増）

生産量：7949万トン（同8.1%増）

【てん菜】

収穫面積：21万ha（同2.8%減）

生産量：1100万トン（同18.3%減）

【砂糖（甘しや糖およびてん菜糖）】

生産量：1209万トン（同0.2%増）

輸入量：500万トン（同23.6%減）

2025/26年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、123万ヘクタール（前年度比4.2%増）とやや増加が見込まれている（表）。サトウキビ生

産量は、主産地で多雨が懸念されているものの、サトウキビの生育は良好とされ、7949万トン（同8.1%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

てん菜収穫面積は、昨年の記録的増加からやや落ち着きを見せ、21万ヘクタール（同2.8%減）とわ

ずかな減少が見込まれている。てん菜生産量は、内モンゴル自治区での収穫遅れが糖分低下につながる恐れがあるとされ、1100万トン（同18.3%減）と大幅な減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビ増産を背景に1209万

トン（同0.2%増）とわずかな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されるが、国内生産の改善見通しから、500万トン（同23.6%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

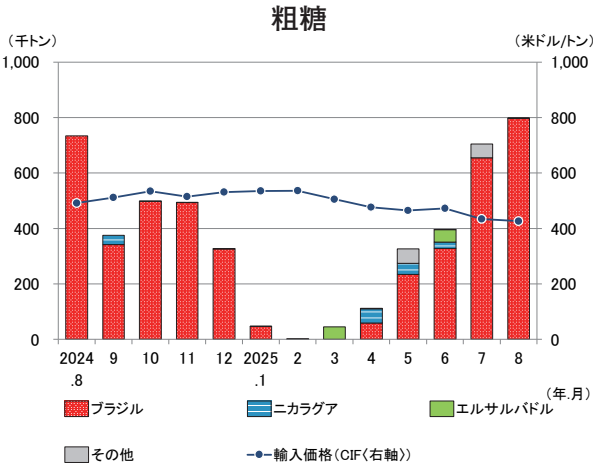
年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		1,102	1,095	1,180	1,230	4.2
サトウキビ生産量		62,595	73,132	73,537	79,485	8.1
てん菜収穫面積		182	167	216	210	▲ 2.8
てん菜生産量		8,719	9,377	13,460	10,997	▲ 18.3
砂糖	生産量	9,699	10,773	12,067	12,089	0.2
	輸入量	5,890	7,481	6,544	4,999	▲ 23.6
	消費量	16,578	16,740	17,064	17,172	0.6
	輸出量	201	179	163	156	▲ 4.2
	期末在庫量	14,232	15,567	16,950	16,710	▲ 1.4
	期末在庫率	84.8	92.0	98.4	96.4	2.0ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. [Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2025]

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

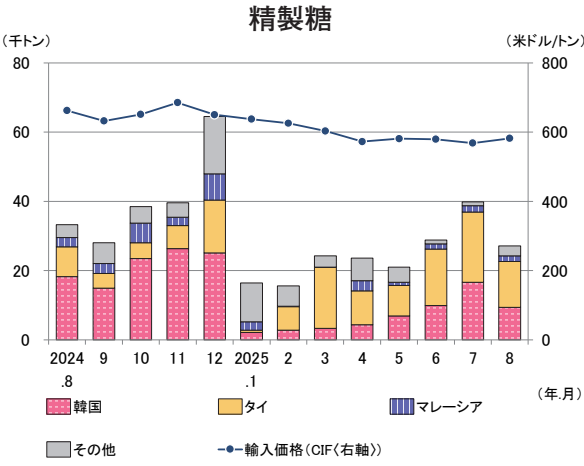
(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：2025年2月の粗糖輸入量は、千トン未満。



E U

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：141万ha（前年度比10.3%減）

生産量：1億1076万トン（同4.9%減）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1680万トン（同2.9%減）

輸入量：127万トン（同6.7%減）

2025/26年度の砂糖生産量はやや、輸入量はかなりの程度減少する見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に各国で減少が見込まれることから、141万ヘクタール（前年度比10.3%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。てん菜生産量は、フランスでは単収の向上、ドイツでは糖度の改善が

それぞれ見込まれているものの、作付面積の減少により、1億1076万トン（同4.9%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜生産量の減少を背景に1680万トン（同2.9%減）とわずかに減少が見込まれている。砂糖輸入量は、EU圏内での砂糖相場の下落で輸入が抑制され、127万トン（同6.7%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

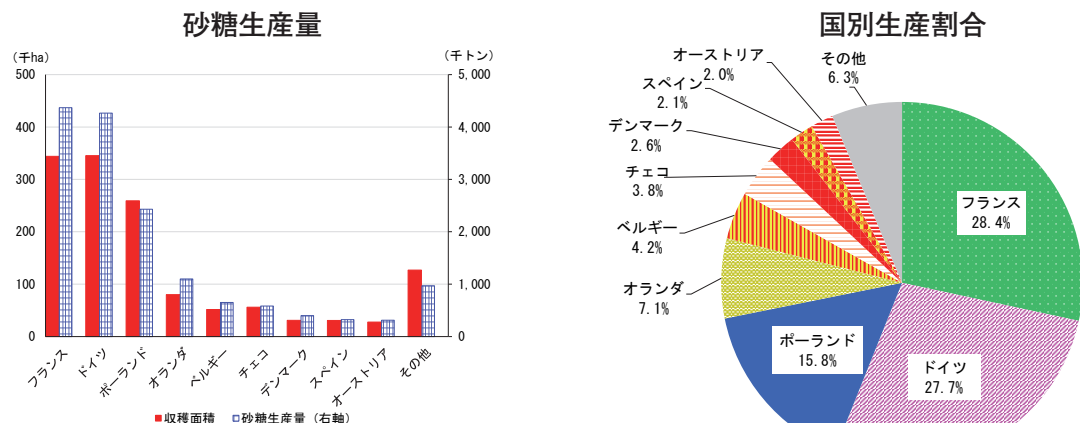
年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 （10月予測）	前年度比 （増減率）
てん菜収穫面積	1,398	1,447	1,569	1,407	▲ 10.3
てん菜生産量	99,760	109,898	116,458	110,762	▲ 4.9
砂糖	生産量	15,480	16,313	17,308	▲ 2.9
	輸入量	3,269	2,180	1,358	▲ 6.7
	消費量	17,227	16,237	16,454	0.0
	輸出量	925	2,206	2,096	1.6
	期末在庫量	2,139	2,190	2,306	▲ 22.5
	期末在庫率	11.8	11.9	12.4	2.8ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し（2025/26年度）（2025年9月時点）



資料：欧州委員会

注1：精製糖換算。

注2：数値は予測値。

資料：欧州委員会

4 日本の主要輸入先の動向（2025年10月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖＜HSコード1701.14－110＞および甘しや糖・その他＜同1701.14－200＞の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2024年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.2%（前年比1.4ポイント減）、タイが9.7%（同1.3ポイント増）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比0.0%増）

生産量：2979万トン（同7.2%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：402万トン（同6.3%増）

輸出量：303万トン（同4.6%増）

2025/26年度の砂糖生産量はかなりの程度、 輸出量はやや増加する見込み

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比0.0%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、一定の労働力確保に加え、前年度より生育に適した季節的条件が整うとの見通しから、2979万トン（同7.2%増）とかなりの程度増加が見込まれている。一部地域では過湿による収穫遅延があったものの、7月の降水量が平年を大幅に下回ったことで収穫進^{しんちよく}度が加速し、現在の収穫進^{しんちよく}捗率は約63%とされる。

砂糖生産量は、CCS^{（注）}が収穫の進捗の伴い改善され、現在は前年を上回る状況になったことやサトウキビ増産と製糖工場の順調な稼働状況から、402万トン（同6.3%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き多くの需要があることから、303万トン（同4.6%増）とやや増加が見込まれている。

（注）Commercial Cane Sugar（可製糖率）の略。サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 （9月予測）	2025/26 （10月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積		331	341	345	345	345	0.0
サトウキビ生産量		32,593	29,274	27,780	30,049	29,794	7.2
砂糖	生産量	4,298	4,128	3,779	4,052	4,018	6.3
	輸入量	8	10	14	12	12	▲ 16.9
	消費量	996	997	1,006	1,014	1,014	0.8
	輸出量	3,292	3,700	2,896	3,050	3,030	4.6
	期末在庫量	887	327	219	1,021	205	▲ 6.5
	期末在庫率	20.7	7.0	5.6	25.1	5.1	0.5ポイント減

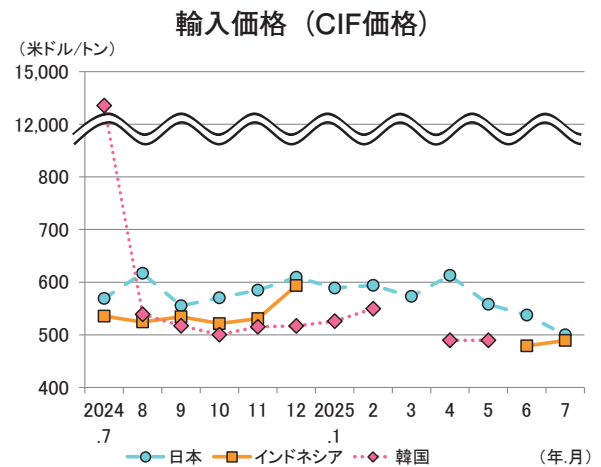
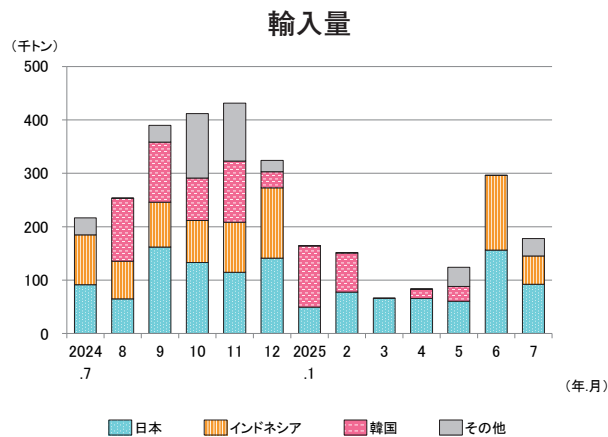
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

注3：GlobalData UK Ltd. のデータの見直しに伴い、期末在庫量の10月予測と9月予測に乖離が生じた。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2025」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その後は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：韓国の25年3月、6月、7月の輸入量は実績なし。24年7月の輸入量は、千トン未満。

注5：インドネシアの25年1月、2月、3月、4月、5月の輸入量は実績なし。

タイ

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：157万ha（前年度比2.2%増）

生産量：9750万トン（同5.9%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1143万トン（同8.0%増）

輸出量：911万トン（同32.5%増）

2025/26年度の砂糖生産量はかなり大きく、輸出量は大幅に増加する見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、157万ヘクタール（前年度比2.2%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、一部地域で集中豪雨に見舞われたものの、収穫前の乾燥した天候が収量に有利に働くことで、9750万トン（同5.9%増）とやや増加が見込まれている。また、サトウキビ・砂糖委員会事務局（OCSB）は、25/26年度の焼き畑収穫^{（注）}の割合

を24/25年度の14.86%から10%以下まで引き下げることを目標としている。

砂糖生産量は、サトウキビ増産により、1143万トン（同8.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸出量は、ブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に911万トン（同32.5%増）と大幅な増加が見込まれている。

（注）サトウキビの^{しょうとうぶ}梢頭部や葉を燃やした後に収穫する方法。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,514	1,475	1,541	1,574	2.2
サトウキビ生産量	93,888	82,167	92,043	97,500	5.9
砂糖	生産量	11,688	9,315	11,428	8.0
	輸入量	282	249	100	▲ 73.7
	消費量	3,348	3,186	3,249	0.7
	輸出量	8,002	5,888	9,105	32.5
	期末在庫量	2,570	3,060	3,091	▲ 21.1
	期末在庫率	22.6	33.7	38.8	13.8ポイント減

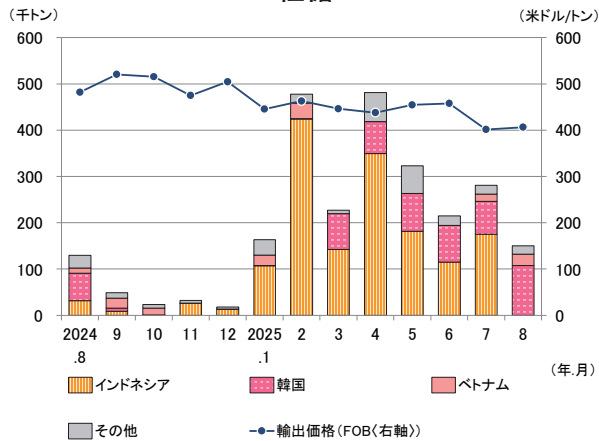
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

精製糖

